

年間スケジュール

番組は変更となる場合もございますのでご了承ください。

<p>3月13日(金) 13th March</p>	<p>創作 哀し 機織る鶴かなし</p>	<p>花柳 衛菊</p>
---	-----------------------------	---------------------

（振付：花柳衛菊）
迷い、私の布、最後の布を織る、別れ　で構成されています。1985年創作舞踊コンクールが初演で、自身初の創作作品です。その後、内外で100ステージ以上、演じてきました。木下順二作「夕鶴」のつうが、与ひょうのために最後の布を織る場面を主題にしたものです。

<p>清元 玉兔</p>	<p>花柳 智寿彦</p>
---------------------	----------------------

一人で七役を踊る七変化舞踊の中の一つで、本名題は「玉兎月影勝」（たまうさぎつきのかげかつ）です。月から飛び出た兎が、飛び団子を作ったりする餅つきの踊りのあと、おとぎ話の「かちかち山」の爺・婆・兎・狸一人で踊り分けるところが眼目です。

<p>創作 闇・ゆらぎ</p>	<p>花柳 智寿彦、花柳 衛菊</p>
------------------------	----------------------------

（振付：花柳衛菊）
2004年が初演です。“光”という四つの章からなる公演の第一章です。闇のなかにひそむ、時に同調し、時に衝突し発散する、光や命の源となる物質やエネルギーを表しています。

<p>5月15日(金) 15th May</p>	<p>長唄 老松</p>	<p>若見匠 祐助</p>
---	---------------------	----------------------

お座敷長唄の先駆けで、演奏会用の曲として作られたご祝儀曲です。発想は謡曲「老松」からですが、常磐津、清元と歌詞が違う長唄の場合は一貫した意味がなく、松に関しての歌詞のつながり合わせが主です。合方に廓気分や、神楽の合方、松風の合方を入れて変化の工夫がしてあります。

<p>長唄 からかさ俄</p>	<p>花柳 珠絃</p>
------------------------	---------------------

（振付：花柳衛彦）
「俄」とはその場の思い付きで行われる狂言の事ですが、なんでも屋の男が、橋のたもてで、から傘一本を小道具にして一人芝居や踊りで稼ごうとします。たいして客も集まらず、そのうちにわか雨が来て寒さの中くしゃみを残して去って行く。変わり身の妙と雨にまつわる場面毎の人物像、楽しくも、もの悲しい曲です。

<p>清元 柏の若葉</p>	<p>旭 七彦</p>
-----------------------	--------------------

梅の木に鶯が囀るのどかな風景に始まり、若葉が茂る初夏、柏と松の中睦まじさ、そして衣更えの季節、富士と筑波の山の姿、宮戸川の舟遊び、そして月の光に浮かれ騒ぐ清元の連弾き。終わりは清き流れが尽きないように清元の繁栄を寿ぎ祝います。華やぎ、艶やかさを花鳥風月にことよせて踊られます。

<p>6月19日(金) 19th June</p>	<p>萩 江 鐘の岬</p>	<p>花柳 錦翠美</p>
--	-----------------------	----------------------

（振付：二世 花柳壽楽）
地歌の『鐘ヶ岬』を萩江節に改曲したものです。長唄「娘道成寺」の歌詞「鐘に怒みは数々ござる…」から「えんぢやえ」までを、ほとんどそのまま移しています。女の恋心を初々しい色気とともに描き、最後は移り気な男の心に執念を見せて終わります。

<p>義太夫 櫓のお七</p>	<p>泉 裕紀</p>
------------------------	--------------------

恋人に会いたい一心で放火事件を起こし火刑に処された八百屋の娘、お七の実話を題材にしています。八百屋の裏手、閉じ込められた町木戸の中、宝剣紛失の為に切腹という吉三郎に宝剣を取り戻したので届けたい、救いたくとも救えない、極限状態にあるお七の心境を人形振りによって表現されています。

<p>長唄 時雨西行</p>	<p>林 千永、藤間 章吾</p>
-----------------------	--------------------------

西行法師が江口の里で時雨に逢い、一夜の宿を求めた家の遊女が、西行の話聞いて無常を悟ります。そして西行法師が目を閉じると、そこに普賢菩薩の姿が現れ、目を開くとそこには遊女が…。西行法師が拝むうちに普賢菩薩が消えていく。超時間的、空間的な踊りです。

<p>9月4日(金) 4th September</p>	<p>清元 子守</p>	<p>花柳 智寿彦</p>
---	---------------------	----------------------

豆腐屋へ油揚げを買いに行った子守娘が、鳶に油揚げをさらわれ追いかけての登場、泣き出した赤子をあやし寝付かせ、人形を並べての踊り、座頭を真似た滑稽な踊り、そして故郷の越後を懐かしんで踊ります。軽快な中にもどこか哀愁が漂います。

<p>長唄 まかしよ</p>	<p>若見匠 祐助</p>
-----------------------	----------------------

寒中に江戸市中を寒行と言って白衣を着、子ども達に「まかしよまかしよ」と囃されて、お札をまき散らしながら金銭をもらって歩いた願人坊主の姿を舞踊化した風俗舞踊です。全体にテンポが速く、内容はふざけたものですが、江戸後期の退廃的な気分を味わうことができます。「まかしよ」とは「撒いていておくれ」と言う意味です。

<p>清元 流星</p>	<p>西川 扇重郎</p>
---------------------	----------------------

牽牛と織姫が年に一度の七夕の逢瀬を楽しんでいるところに、流星が「ご注進、ご注進」と飛び込んできて雷夫婦の喧嘩の様子を注進します。流星が夫婦、子供、隣の雷の婆さんの四役を踊り分けるところが見せ場です。織姫と牽牛星を省略して、流星一人の踊りで踊られます。

<p>10月16日(金) 16th October</p>	<p>長唄 賤の苧環</p>	<p>花柳 笹公</p>
--	-----------------------	---------------------

吉野山で義経と別れた静御前が、頼朝に捕らえられて鎌倉に送られ、鶴岡八幡宮社前で、白拍子の舞を舞いますが、静は舞の中で義経を恋い慕い、義経の身の安全を祈って踊り、頼朝の不興をかうことになった故事から舞踊化されています。二景になっていて一景が鎌倉へ向かう道行きで、二景は哀愁と怒りを秘めた鎌倉八幡宮の舞楽殿での舞です。

<p>長唄 助 六</p>	<p>花柳 奈千穂</p>
----------------------	----------------------

江戸で一番の豪華な遊廓吉原で、夜桜をめぐる男伊達の踊りです。歌舞伎十八番の『助六』の真髓を舞踊にしたもので、荒事の漂々しい気品と和事の柔らかな中で落ち着いた美しさが楽しめます。

<p>一中節 松 襲</p>	<p>旭 七彦</p>
-----------------------	--------------------

松のめでたい訳や、松の種類を歌詞に歌い込み年月を経ても緑色の変わらぬ松のように御代がいつまでも栄えることを祝って踊られます。くるわ気分を歌った部分は、三下りの曲調です。松襲とは、襲装束（かさねしょうぞく）の色合いの種類のこと、表は萌黄、裏は紫です。

<p>12月18日(金) 18th Decembe</p>	<p>創作 けら虫</p>	<p>花柳 衛菊</p>
--	----------------------	---------------------

（振付：花柳衛菊）
日本初演の作品です。「蓮花の匂う辺り」の三部作の第二の作品です。パリの東洋美術専門のギメ美術館を訪れた際、自由な発想で様々な生き物を創造している仏教美術を見て、実際には存在しない虫を思い浮かべました。

<p>長唄 外記猿</p>	<p>花柳 錦翠美</p>
----------------------	----------------------

演奏会用として作られた曲ですが、のちに舞踊に振り付けられました。子猿を背中に方方を渡り暮らす猿回しが、ある屋敷に呼ばれ、猿と共に様々な物語を演じてみせます。実際に子猿は出ないのですが、いるように芸で見せるというものです。全体に軽快ですが闇八節（後に宮園節になります）掛かりのお染久松の口説きが、踊りの見せ場です。

<p>清元 吉野山</p>	<p>泉 裕紀、花柳 珠絃</p>
----------------------	--------------------------

源義経を慕って静御前は家来の佐藤忠信を供に吉野への道行きの場面です。実はこの忠信は静御前が持っている初音の鼓の皮にされた狐夫婦の親を慕う子狐なのです。時折鼓に頬ずりをし、手が狐の手になるのは狐であるからです。二人は満開の吉野山にて一休みし、忠信が義経から賜った鍬（よろい）の上に初音鼓を乗せ義経の姿になぞらえ、「屋島の合戦の物語」を踊ります。

<p>旭 七彦 あさひ ななひこ</p>	<p>旭流家元。振付家、演出家。文化庁芸術祭賞受賞。慶応義塾大学卒業。朝日カルチャーセンター講師。旭七彦乃会、玉光会等主宰。国際交流基金の海外公演にも多数参加。日本民俗芸能協会理事。</p>
-----------------------------	--

<p>葛 夕カ女 かつら たかじよ</p>	<p>地唄舞葛流家元。早稲田大学文学部卒業。4才で藤間流入門。立教女学院在学中名取。女優として多くの舞台に出演。その後、地唄舞神崎流入門、師範。2001年葛流創流。舞踊批評家協会賞受賞。国際交流基金等、海外公演多数。舞台芸術学院、都立忍岡高校、NHK文化センター等の講師、日本民俗芸能協会理事。</p>
------------------------------	---

<p>花柳 伊三郎 はなやぎ いさぶろう</p>	<p>1954年神戸市生まれ。幼少より実父・花柳五三朗に師事。2003年から米国ワシントン桜祭り招聘を受け、海外公演を継続中。2008,09年には米国Swarthmore 大学より特別客員教授の称号を得る。</p>
---------------------------------	---

<p>花柳 笹公 はなやぎ ささきみ</p>	<p>幼少より父・花柳笹之丞に手ほどきを受け、日本大学芸術学部演劇学科入学を機に、人間国宝・花柳寿南海に師事。日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。日本舞踊振興財団などの海外公演に多数参加。</p>
-------------------------------	--

<p>花柳 奈千穂 はなやぎ なちほ</p>	<p>若手タレント、新人舞踊家の指導育成、放送関係出演、イベント振付指導等、日本舞踊活動歴49年。日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回、会長賞受賞。国際交流基金の海外公演にも多数参加。踊り手としての活動の一方、振付家として舞踊、演劇、オペラなども手がけている。日本民俗芸能協会理事。林流千永派家元。</p>
-------------------------------	---

<p>若見匠 祐助 わかみしょう ゆうすけ</p>	<p>母・若見匠風徳、猿若吉代に師事。日本大学芸術学部大学院卒業。邦楽と舞踊社主催舞踊大会第1位、日本舞踊社主催みそみ会にて、優秀賞受賞、東京新聞社主催全国舞踊コンクールにて文部科学大臣奨励賞受賞、日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて最優秀賞受賞。</p>
----------------------------------	---

<p>若見匠 祐助 わかみしょう ゆうすけ</p>	<p>母・若見匠風徳、猿若吉代に師事。日本大学芸術学部大学院卒業。邦楽と舞踊社主催舞踊大会第1位、日本舞踊社主催みそみ会にて、優秀賞受賞、東京新聞社主催全国舞踊コンクールにて文部科学大臣奨励賞受賞、日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて最優秀賞受賞。</p>
----------------------------------	---

<p>若見匠 祐助 わかみしょう ゆうすけ</p>	<p>母・若見匠風徳、猿若吉代に師事。日本大学芸術学部大学院卒業。邦楽と舞踊社主催舞踊大会第1位、日本舞踊社主催みそみ会にて、優秀賞受賞、東京新聞社主催全国舞踊コンクールにて文部科学大臣奨励賞受賞、日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて最優秀賞受賞。</p>
----------------------------------	---

<p>若見匠 祐助 わかみしょう ゆうすけ</p>	<p>母・若見匠風徳、猿若吉代に師事。日本大学芸術学部大学院卒業。邦楽と舞踊社主催舞踊大会第1位、日本舞踊社主催みそみ会にて、優秀賞受賞、東京新聞社主催全国舞踊コンクールにて文部科学大臣奨励賞受賞、日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて最優秀賞受賞。</p>
----------------------------------	---

<p>若見匠 祐助 わかみしょう ゆうすけ</p>	<p>母・若見匠風徳、猿若吉代に師事。日本大学芸術学部大学院卒業。邦楽と舞踊社主催舞踊大会第1位、日本舞踊社主催みそみ会にて、優秀賞受賞、東京新聞社主催全国舞踊コンクールにて文部科学大臣奨励賞受賞、日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて最優秀賞受賞。</p>
----------------------------------	---

<p>若見匠 祐助 わかみしょう ゆうすけ</p>	<p>母・若見匠風徳、猿若吉代に師事。日本大学芸術学部大学院卒業。邦楽と舞踊社主催舞踊大会第1位、日本舞踊社主催みそみ会にて、優秀賞受賞、東京新聞社主催全国舞踊コンクールにて文部科学大臣奨励賞受賞、日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて最優秀賞受賞。</p>
----------------------------------	---

<p>若見匠 祐助 わかみしょう ゆうすけ</p>	<p>母・若見匠風徳、猿若吉代に師事。日本大学芸術学部大学院卒業。邦楽と舞踊社主催舞踊大会第1位、日本舞踊社主催みそみ会にて、優秀賞受賞、東京新聞社主催全国舞踊コンクールにて文部科学大臣奨励賞受賞、日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて最優秀賞受賞。</p>
----------------------------------	---

<p>観客ナビゲーター</p>	<p>公演をご覧いただく皆様へ、演目の世界観や背景などについてもより深くお楽しみいただくための「案内人」を右のご両名にお願いしています。</p>
------------------------	--

<p>観客ナビゲーター</p>	<p>公演をご覧いただく皆様へ、演目の世界観や背景などについてもより深くお楽しみいただくための「案内人」を右のご両名にお願いしています。</p>
------------------------	--

<p>観客ナビゲーター</p>	<p>公演をご覧いただく皆様へ、演目の世界観や背景などについてもより深くお楽しみいただくための「案内人」を右のご両名にお願いしています。</p>
------------------------	--

<p>泉 徳右衛門 いずみ とくえもん</p>	<p>泉流二代目宗家。日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会特別賞、日本舞踊協会花柳壽應賞新人賞、文化庁芸術祭優秀賞、松尾芸能新人賞、舞踊批評家協会新人賞を受賞。泉流宗家としての活動の他、桜美林大学 非常勤講師を務める。自身の会として「徳右衛門リサイタル」を主催。</p>
--------------------------------	--

<p>泉 徳右衛門 いずみ とくえもん</p>	<p>泉流二代目宗家。日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会特別賞、日本舞踊協会花柳壽應賞新人賞、文化庁芸術祭優秀賞、松尾芸能新人賞、舞踊批評家協会新人賞を受賞。泉流宗家としての活動の他、桜美林大学 非常勤講師を務める。自身の会として「徳右衛門リサイタル」を主催。</p>
--------------------------------	--

<p>西川 扇重郎 にしかわ せんしげろう</p>	<p>日本大学芸術学部演劇学科卒業後、西川流宗家西川扇蔵の内弟子に入る。日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞、舞踊批評家協会新人賞などを受賞。日本舞踊振興財団の海外公演に数多く参加。日本舞踊協会 新作公演「道成寺」振付補。「扇重郎会」主宰。</p>
----------------------------------	--

<p>西川 扇重郎 にしかわ せんしげろう</p>	<p>日本大学芸術学部演劇学科卒業後、西川流宗家西川扇蔵の内弟子に入る。日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞、舞踊批評家協会新人賞などを受賞。日本舞踊振興財団の海外公演に数多く参加。日本舞踊協会 新作公演「道成寺」振付補。「扇重郎会」主宰。</p>
----------------------------------	--

<p>花柳 衛菊 はなやぎ えぎく</p>	<p>創作を中心に内外で活動。毎年、国内公演や国際演劇祭参加公演など、2019年には自主リサイタル計63回目。世界14都市で招待公演。2019年仏メラルグジャパンマニア招待公演。埼玉大学、実践女子大学等で出前授業実施。文化庁芸術祭賞、文部大臣奨励賞2回、田中良賞、武智鉄二賞他受賞。日本民俗芸能協会理事。エギクJ P代表。</p>
------------------------------	---

<p>花柳 衛菊 はなやぎ えぎく</p>	<p>創作を中心に内外で活動。毎年、国内公演や国際演劇祭参加公演など、2019年には自主リサイタル計63回目。世界14都市で招待公演。2019年仏メラルグジャパンマニア招待公演。埼玉大学、実践女子大学等で出前授業実施。文化庁芸術祭賞、文部大臣奨励賞2回、田中良賞、武智鉄二賞他受賞。日本民俗芸能協会理事。エギクJ P代表。</p>
------------------------------	---

<p>花柳 珠絃 はなやぎ たまいと</p>	<p>文化庁芸術祭賞受賞。日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。数々の海外フェスティバル公演に参加。子供による日本舞踊集団「未来座」のプロデュース、振付。「珠いと小」主宰、「たまゆうの會」共宰。区内の小中学校にて伝統文化普及の授業実施。</p>
-------------------------------	--

<p>花柳 珠絃 はなやぎ たまいと</p>	<p>文化庁芸術祭賞受賞。日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。数々の海外フェスティバル公演に参加。子供による日本舞踊集団「未来座」のプロデュース、振付。「珠いと小」主宰、「たまゆうの會」共宰。区内の小中学校にて伝統文化普及の授業実施。</p>
-------------------------------	--

<p>林 千永 はやし ちえ</p>	<p>東京藝術大学音楽学部三味線専攻卒業。日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。芸術選奨文部大臣新人賞、文化庁芸術祭賞を受賞。国際交流基金の海外公演にも多数参加。踊り手としての活動の一方、振付家として舞踊、演劇、オペラなども手がけている。日本民俗芸能協会理事。林流千永派家元。</p>
---------------------------	--

<p>林 千永 はやし ちえ</p>	<p>東京藝術大学音楽学部三味線専攻卒業。日本舞踊協会各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。芸術選奨文部大臣新人賞、文化庁芸術祭賞を受賞。国際交流基金の海外公演にも多数参加。踊り手としての活動の一方、振付家として舞踊、演劇、オペラなども手がけている。日本民俗芸能協会理事。林流千永派家元。</p>
---------------------------	--

<p>北寄崎 嵩 きたぎざき たかし</p>	<p>舞台照明家。駒沢大学卒業。1978年より国立劇場にて歌舞伎、文楽、日本舞踊の照明に従事。2003年国立劇場を退職。(株)北寄崎に入社、様々な分野の照明デザインに取り組む。1989年第9回日本照明家協会賞大賞受賞。文部大臣奨励賞受賞。日本照明家協会編「日本舞踊の照明」を編集。</p>
-------------------------------	--

<p>北寄崎 嵩 きたぎざき たかし</p>	<p>舞台照明家。駒沢大学卒業。1978年より国立劇場にて歌舞伎、文楽、日本舞踊の照明に従事。2003年国立劇場を退職。(株)北寄崎に入社、様々な分野の照明デザインに取り組む。1989年第9回日本照明家協会賞大賞受賞。文部大臣奨励賞受賞。日本照明家協会編「日本舞踊の照明」を編集。</p>
-------------------------------	--

<p>北寄崎 嵩 きたぎざき たかし</p>	<p>舞台照明家。駒沢大学卒業。1978年より国立劇場にて歌舞伎、文楽、日本舞踊の照明に従事。2003年国立劇場を退職。(株)北寄崎に入社、様々な分野の照明デザインに取り組む。1989年第9回日本照明家協会賞大賞受賞。文部大臣奨励賞受賞。日本照明家協会編「日本舞踊の照明」を編集。</p>
-------------------------------	--

<p>北寄崎 嵩 きたぎざき たかし</p>	<p>舞台照明家。駒沢大学卒業。1978年より国立劇場にて歌舞伎、文楽、日本舞踊の照明に従事。2003年国立劇場を退職。(株)北寄崎に入社、様々な分野の照明デザインに取り組む。1989年第9回日本照明家協会賞大賞受賞。文部大臣奨励賞受賞。日本照明家協会編「日本舞踊の照明」を編集。</p>
-------------------------------	--

<p>北寄崎 嵩 きたぎざき たかし</p>	<p>舞台照明家。駒沢大学卒業。1978年より国立劇場にて歌舞伎、文楽、日本舞踊の照明に従事。2003年国立劇場を退職。(株)北寄崎に入社、様々な分野の照明デザインに取り組む。1989年第9回日本照明家協会賞大賞受賞。文部大臣奨励賞受賞。日本照明家協会編「日本舞踊の照明」を編集。</p>
-------------------------------	--

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

<p>泉 裕紀 いずみ ゆうき</p>	<p>6才より泉徳右衛門、泉摩津英に師事。文化庁芸術祭賞、日本舞踊協会 各流派合同新春舞踊大会にて大会賞3回・会長賞受賞。富士市文化奨励賞受賞。エディンバラ、アヴィニョン演 劇祭公演に参加。おどり集団「DAN」の振付、プロデュース。「ゆうきの会」主宰、「たまゆうの會」共宰。</p>
----------------------------	---

春の会

初夏の会

初夏の会

夏の会

夏の会

夏の会

夏の会

夏の会

秋の会